

2020. 10. 29	<p>院長の米澤が長崎大学歯学部への WEB 講演を行いました。</p> 
2020. 10. 01	<p>大阪大学歯学部 CE コースにて院長の米澤が講演を行いました。</p>  
2020. 09. 19-20	<p>第 50 回日本口腔インプラント学会にて院長の米澤が講演を行いました。</p>
2020. 05	<p>クインテッセンス出版株式会社「デジタル・モノリシック・インプラントレストレーション Longevity を追求した, 機能と審美が両立するジルコニアモノリシック上部構造製作のためのプロトコール」に院長の米澤が症例提供を行い、書評を執筆しました。(CASE 7)</p> 
2020. 03. 05	<p>長崎大学歯学部矯正学科にて院長の米澤が講義を行いました。</p>
2020. 01. 27	<p>長崎大学にて院長の米澤が講演を行いました。</p>

デンタルダイヤモンド社 DENTAL DIAMOND 第 45 巻第 3 号通巻 661 号  
2020 FEB. VOL. 45 NO. 661 P76-83

臨床スクエア ケースプレ&アドバイス

「矯正治療とインプラント補綴を併用した重度慢性歯周炎患者の咬合再構成」  
にて院長の米澤がアドバイスを執筆、掲載される。

2020. 01



2020. 01. 26

大阪 SJCD 技士コースセミナーにて院長の米澤が講演を行いました

クインテッセンス出版

新聞「QUINT」2020年1月第284号にて日本歯科矯正歯科学会学術大会（長崎）での講演が  
記事にされました

2020. 01



**学会**  
「矯正歯科治療～どこから来て、どこへ行くのか」をテーマに日本矯正歯科学会  
2019年11月20日(水)から11月22日(金)までの3日間、長崎ツリクホール、長崎新聞文化ホール、長崎県歯科医師会館、長崎県総合福祉センター(すべて長崎)において、第78回日本矯正歯科学会学術大会(吉田敬典大会長、森山司理事長)が「矯正歯科治療～どこから来て、どこへ行くのか」をテーマに3,990名の参加者を集めて盛大に開催された。3日間にわたり、生涯研修セミナー、指導者講演会、サテライトセミナー、臨床セミナー、スタッフ&ドクターセミナー、特別講演、シンポジウム、教育講演などが行われ、非常に多くの聴講者が参集した。なかでも生涯研修セミナーにおいては、矯正歯科治療における顎口腔機能と評価と題して、及成 博氏(鶴見大学教授)と板土 麗氏(新潟大学)が研究結果を交えながら示唆に富んだ講演を行った。また、「過去の難症例、再治療症例から学ぶ未来への戦略的診断・治療」と題した臨床セミナー2においては、米澤大地氏、喜ノ海龍三氏(ともに兵庫県開業)、菅原肇二氏(宮城県開業)が登壇。難症例における、複雑治療と矯正治療の関連性と治療ゴールの設定、早期治療における難症例とその問題点、再治療が必要であったケースの治療のポイントと経路観察など、示唆に富んだ講演と議論が展開され、盛会となった大会を締めくくった。なお、次回は2020年10月4日(日)から7日(木)までの4日間、バジコ川横浜(神奈川県)において、第9回国際矯正歯科学会世界大会が開催される予定である。